

オンライン授業・ミックス型授業への対応

新型コロナウイルスの社会的状況に応じた活動制限指針を踏まえ、授業実施内容は対面による授業、ミックス型授業、オンライン授業方式でも実施された。

メディアセンターでは、各種システムやサービスなどの整備とあわせて、各種支援体制を整備して授業運営の支援を実施した。

1. 環境整備

(1). ミックス型授業環境整備

学内のすべての教室でミックス型授業が対応可能となるように、マイク・スピーカー一体型のスピーカーフォンや Web カメラ等の整備を実施した。

(2). ネットワークインフラ整備

キャンパス内でのオンライン受講などに対応するため、学内ネットワーク設備の改修、ならびに、無線 LAN 環境の整備を実施した。

2. 運用支援

(1). オンライン授業・ミックス型授業機材サポート

教室設備の基本的な利用方法のサポートから、具体的な授業運営に応じた活用方法まで、スタッフによるサポートを実施した。

事前相談による個別対応も実施し、教室内の常設カメラなどを併用した運用なども提案し、各授業運営に適した配信方法を実現した。

(2). マニュアルサイト整備

教室の設備機器をパターン別に分類・一覧化し、教室パターン別にマニュアル動画を整備することで、該当の教室の利用方法を分かり易く案内した。

(3). 配信準備サポーター制度

配信準備サポーター制度を新設し、対面授業のミックス型対応を行う科目において、必要に応じて授業開始前の機器準備・接続、終了後の機器片付けを支援する「配信準備サポーター」を配置できることとした。

以上